

自然王国  
キノボリキヌキリグモ  
中国山地

但馬が日本での第一発見  
場所となったクモ

お腹の白と緑の模様が美しいキノボリキヌキリグモは、ブナの原生林やトチの木などの表面のコケに住むクモです。日本では但馬で見つかったのが第一発見でした。体長は5〜7ミリ。コケと同化してしまうので、じっくり見ても、なかなかわかりません。見つける方法は、コケの表面にやさしく息を吹きかけます。もそもそと動くのがキノボリキヌキリグモです。コケの表面にうすいネット状の網をはって、虫たちをエサとしています。中国山地にすんでいると言われ、但馬ではブナ林などが残っている水ノ山、扇ノ山、三川山、蘇武岳などで見つかっています。はじめ、このクモはヨーロッパ産の

ムレサラグモと思われていたのですが、あとになって成熟したクモが見つかり、種類の違うことがわかりました。長い間、メスだけしか見つからなかったのですが、4〜5年前にオスを発見。オス・メス両方がやっと揃い、新種として発表する準備が整ったのですが、すでに1992年ロシアで新種として記載されており、少しの差で先を越されてしまったという経緯があります。

キノボリキヌキリグモは、雪が解けると子グモたちがいつせいに飛び出してきます。春から夏にかけて大人になり、秋のはじめに交尾し産卵。卵を外敵や寒さから守るために、糸でくるみます。ふ化した子供たちは真綿の中で雪の季節を過ごし、春になると緑のコケへ姿を見せると言われています。

クモたちにも天敵がいます。ハエかハチか、はつきりとわかっていないのですが、クモの腹部に幼虫が寄生して、栄養を吸い取って死なせてしまうとか。

クモが住むブナやブナのコケは、樹齢のある木でないとできません。コケがないと生息できないキノボリキヌキリグモは、ブナなどの原生林がなくなれば必然的にいなくなってしまう。ブナの林にはいろいろな生物

写真はキノボリキヌキリグモのメスです。オスはもう少しスリムで足が長い。でも、なかなか見つからないとか。



たちが生きています。キノボリキヌキリグモもその中の一つなのです。

但馬は雨が多く、緑がたくさんあります。だからこそ、クモにとってはよい環境。兵庫県では400種類のクモがいると言われていますが、その内の340種類が但馬に生息しています。ほとんどのクモが但馬に住んでいるわけです。但馬にすむクモがいかに豊富であるかがわかりますね。でも、クモの研究はなかなか進

んでいないのが現状です。まだまだ見つからない未知のクモがいるかもしれません。但馬から新種のクモが発見され、登録されるかも。世界に発信される情報として、こんなにうれしいことはありませんよね。どこにでもクモや虫たちはすんでいます。ちよつと目を凝らし、観察してみませんか。新しい発見があるかもしれない。

資料・写真提供協力：山本一幸さん

自然を大切に



総合口座・カードローン

街の親近バンク  
但馬信用金庫

本店 / 〒668 豊岡市中央町17-8  
TEL. 0796 (23)1200

# 華やかな図柄を描き出す御殿まり

細く美しいリリアンの糸が織りなす芸術品。

金・銀糸が目を引く御殿まり。た  
ちばな、つばき、ぼたん、孔雀、ポン  
ポンドリア、雪、おひな様…とさま  
ざまな美しい名前の付いたまりは糸  
によって華やかな図柄を描き出しま  
す。

明治37年生まれの服部つるさんが  
御殿まりを本格的に作り出したの  
は、昭和50年、老人大学へ参加した  
のがきっかけでした。

作り方は基礎となる下地づくりか  
ら。糊殻もみ殻をストッキングの中に入れ  
て絞り、その上から綿の細い糸をぐ  
るぐる巻き付け、形を整えながら球  
をつくっていきます。これが、なか  
かむずかしく力を入れすぎるとい  
びつな形の玉になつてしまいます。

「長年のカンですなあ。定規で計ら  
んでもまん丸になります。大きい  
のや小さいの、いろいろな大きさの  
ものをつくるんですよ。」

下地づくりは何個もまとめてつく  
ってしまいます。根氣のいる仕事で  
す。美しい模様はリリアンをほ  
どいて、縮れを伸ばしてから使つて

御殿まりづくり 服部つるさん(養父町) 93歳

います。何十種類もあるカラフルな

糸の中から、今度はこの色の糸を使

つて、この図柄をつくろうと決めま

す。図柄は四等分、六等分、八等分

など玉の中央を均等に分けていかね

ばなりません。それぞれの玉の大き

さに合わせて尺をつくつて、均等な

点を取っていきます。

「等分をしつかり取らな、模様がゆが

むんです。リリアンの糸もきつちり

伸ばして、ねじれたりするときに

にできません。」

上げちどり、下がけちどりなど

の針の運び方があって、針で下地の

部分をちよつとすくつては次の点へ

と向かいます。色とりどりの糸を通

した針をつるさんが持つと、まりの

表面に美しい絵柄が描き出されてい

きます。糸を強く引つ張りすぎると

切れてしまうし、弱すぎると浮いて

くるし、力の入れ加減がむずかしい

とか。模様を描くだけでも、中位の

大きさで一日かかり、手の込んだ模

様になると数日かかってしまうそう

です。

これまでに200個くらいはつく  
ったというつるさんですが、みんな  
人にあげてしまうと言います。

「もらつてくれた人が喜んでくれる  
と、それがうれしくてね。とにかく、  
まりづくりが好きなんです。」

図柄も自分で考えたオリジナル作

品もたくさんあります。根を詰め始

めると朝の5時から夜は11時から12

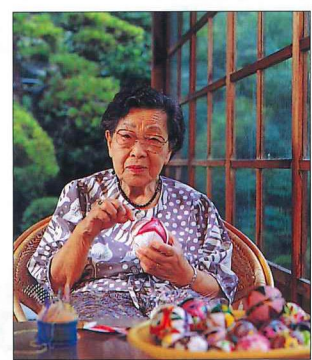
時でもつくり続けるというつるさん。

「すんでしまったことは思い返さんの

です。気ままもんで朝から晩まで、

自分の好きなことだけしとるんです。

今が最高に幸せだと思つとります。」



昨年まではメガネもかけずに、まりづくりができたとい  
います。数々の賞にも輝いた創作まりたち。ひとつ  
ひとつに個性があり、しっかりと自己主張しています。  
服部さんの思いが込められています。

## 造り酒屋の歳時記

### 呑切りのみき

師走から早春にかけて誕生した新  
酒は、火入れをしたあと、冷ややか  
な歳の中で静かに時を過し、まろ  
やかに熟成します。そのお酒をき  
き酒することを「呑切り」といい、  
例年7〜8月頃に行う呑切りを「初  
呑切り」と呼び、重要な年中行事の  
一つです。



伝統はいつの時代にも生きている

## 香住鶴

真心の酒



吟醸 香住鶴 1.8リットル詰



純米大吟醸 福智屋 1.8リットル詰